

第3回会議のグループワークでの意見（グループ別）

○テーマ：条例に盛り込みたい言葉や文章について

	①理念・考え方	②施策・手法	③組織・体制	④その他
Aグループ	<p>「子どもの権利」を中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己肯定感、自分を信じる力、自己肯定感を高める、自分の持つ力を信じる ・その子らしく、ありのままを受け入れる、それぞれの違いを認める ・自由な遊び ・存在を大切にされる、相手を思いやる気持ち、気持ち・思いを尊重 ・切れ目のない支援、子ども・若者への支援、子ども・若者からの意見・主体性、互いに支え合う、お互いを助け合う ・持続可能な ・成長を支える、健康な心と体を育む ・大人が子どもの力を信じる、大人と子どもの対等性 ・参画、子どもの主体性、自由な選択肢 ・補完性、子どもから子どもへ、エンパワメント 	<p>「子どもにやさしいまちづくり」中心に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人で抱え込まない、相談できる ・不登校・ひきこもり予防 ・居場所をつくる、子どもの居場所 ・意見を出す場を保証する、子どもによるまちづくり提案制度、意見が現実化する、アイデアを出し合い・話し合う場、誰でもチャレンジできる 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども主体の成長を支援する体制、サポートのためのネットワーク ・各機関との連携、子どもに関連する総合的部署調整権限、関係機関の連携する仕組み ・きちんと説明を受けられる、情報を受け取れる、メディアリテラシー、子どもの話をきく、子どもの代理人（コミッショナー） ・いつも気にかけてくれる存在、子育ての社会関係資本、地域社会の活性化、子どもの守護神 	

	①理念・考え方	②施策・手法	③組織・体制	④その他
B グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・自立 ・創造力 ・慈愛 ・幸福、希望、楽しい、ワクワク、ドキドキ ・多摩の自然や文化を大切に ・人との関わり・ふれ合いを大切に、人とのつながり ・自己肯定感 ・未来や将来の姿の想像 ・包摂 ・意見の表明 ・意見の傾聴 ・意見の反映 ・違いを楽しむ ・思いやり ・失敗しても良い 	<ul style="list-style-type: none"> ・SDGs、ESD ・環境 ・人権 ・国際理解 ・LGBT ・共生社会 ・未来会議 ・伝統文化 ・奨学金 ・衣食住 ・学力 ・スポーツ ・福祉 ・いじめ ・遊び ・郷土愛 ・規範意識 ・デジタル ・課題へどう着目するか ・行動に移す、体験 ・やりたいことの実現の支援 ・思いを発信する、アウトリーチ ・ロールモデルとの出会い ・ピア・サポート、SOSのキャッチ ・助けてと言える力の向上 	<ul style="list-style-type: none"> ・子ども主体 ・対等な関係性 ・大人の助けがない、若者から子どもへのサポート ・参加、参画 ・ヨコのつながりを強く ・子ども視察委員 ・子ども評価委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・何でも面白いがる ・ゼロから1を創る力 ・SNS ・chance、challenge、change

	①理念・考え方	②施策・手法	③組織・体制	④その他
Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの権利条約4つの原則 ・子ども・若者が希望を持てるまち ・認め合える、自分と違う考え方を受け入れる、ありのまま受け入れる、多様性を認め合う ・自然体=私らしく ・子育て=親育ち 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコマップ(私の資源) ・自立に必要な知識教育 ・自分を知る=心理士の活用 ・安心して失敗できる場づくり ・自分が居ていい場所、認めて・誉めてもらえる場(機会)を増やす ・大人が子どもの中に入っていく ・家族への継続的支援、親支援 ・子ども・若者に情報が伝わる仕組み ・子どもが受け身ではなく主体的に発信 ・子ども・若者が発言したものの具現化 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援終結の際の連絡会(バトンタッチ) ・支援の穴をどうカバーするか ・行政内外の連携、子ども・若者が集う場との連携 ・具体的な支援ネットワーク図 ・役割分担、地域に丸投げしない ・定期的なふりかえり(既存の会議体の活用) ・子ども未来会議の提言の受け皿 ・「まちづくり」を支援するコンソーシアム(共同事業体) 	<ul style="list-style-type: none"> ・分かりやすい表現 (以下、子ども未来会議提言より) ・自分の知識を地域の知識に ・welcomeに市民が人と関わり教え合う場をつくろう ・世界の課題に目を向ける ・全ての世代が自分たちのできることを知り、連携していこう ・自分にできることを実行し、発信していこう ・地域や自然との関わりを大切にしよう

	①理念・考え方	②施策・手法	③組織・体制	④その他
D グ ル ー プ	<ul style="list-style-type: none"> ・困難を減らす、社会的な困難を減らし親世代に ・「世代の循環」を念頭に子どもたちが成長し、また次の世代に社会を引き継ぐ ・健全な意思決定 ・健全=見通しをもつ、自己理解、言葉で伝える、共感、練習 ・人格形成を高める ・生まれた環境に左右されず、チャレンジできる ・挑戦する内容を選べる ・分断社会に抗う 	<ul style="list-style-type: none"> ・多くの人と出会い、自分と他者を理解する ・話を広げ、他者に意見を求める経験 ・人と話し合う場を（結果はオープンに） ・討論のみならず、話し合いを経て意見を進化させる ・包括支援 ・大人になる練習の場作り ・合計特殊出生率を2よりUP ・想像できないことをどう共有するのか ・エビデンス、根拠やデータも基に⇒多くの人気づきになる ・センシティブな経済情報へのアクセス ・支援者を統一（統率）して増やす ・保育⇒保護者⇒共有の輪が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・熱量・成果の維持 ・継続のための「異動」を含めた組織づくり ・困難・貧困について行政の把握している情報への（ある程度の）アクセスの許可 ・支援チーム個人情報取扱い ・責任の所在 	